

**令和6年度CASE対応に向けた
自動車部品サプライヤー事業転換支援事業
(地域支援拠点運営事業)
～みやぎ自動車産業「ミカタ」プロジェクト～**

**事業報告書
【公開版】**

令和7年3月
公益財団法人みやぎ産業振興機構

目次

01

実施目的

02

実施概要

03

実施体制

04

窓口相談

05

セミナー

06

実地研修

07

専門家派遣

08

その他

09

総括

【背景】

- 世界各国では、自動車の電動化目標が設定され、ガソリン車の市場縮小は避けられない状況となっており、今後は環境性能に優れた次世代自動車の普及が進む。
- 日本においても、「経済財政運営と改革の基本方針2022」(令和4年6月7日閣議決定)や「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」(令和4年6月7日閣議決定)、「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」(令和3年6月)において、2035年までに乗用車の新車販売で電動車(電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車、ハイブリッド自動車)100%の実現、2050年の自動車のライフサイクル全体でのCN化を目指すとの目標が掲げられた。



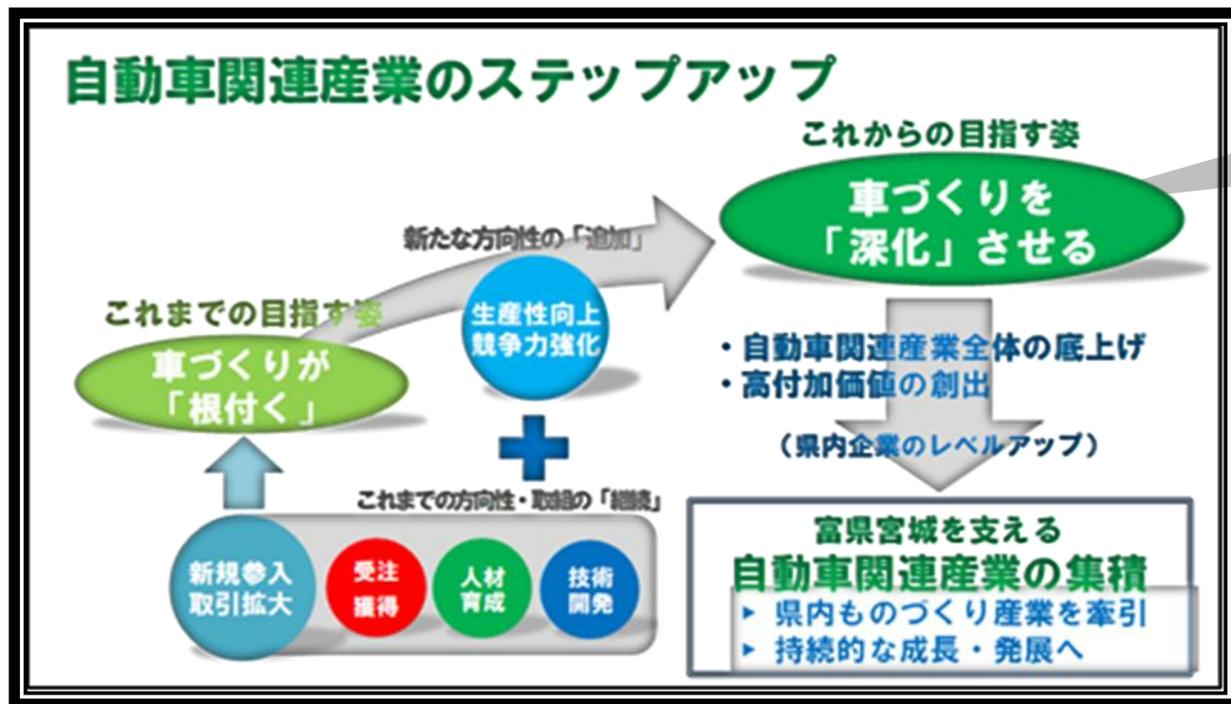
ガソリン車の市場縮小や自動車関連産業のサプライチェーンの再編におけるCASEへの対応は急務であり、宮城県内企業もその例外ではない。

攻めの業態転換・新規参入・事業再構築に係る支援(=ミカタプロジェクト)が必須

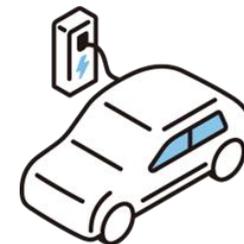
【支援の現況】

- 宮城県内の自動車関連企業等の有機的なネットワークの形成や関連施策情報の共有化等を図ることを目的として、みやぎ自動車産業振興協議会(代表幹事:(公財)みやぎ産業振興機構理事長、事務局:宮城県自動車産業振興室)が発足。自動車関連産業の企業集積、取引拡大、人材育成、技術開発など、各種支援をこれまで実施してきた。

<みやぎ自動車産業振興協議会が目指す姿>



<ミカタプロジェクトとの連動>



次世代自動車、部品、
設備の製造

具体的なレベルアップとして、
◎EV車両向け軽量部品の製造
◎自動運転技術や通信技術の導入

①自動車産業変革の危機感醸成

- 宮城県内のサプライヤー企業に対して、CASEの国内外動向や、自動車業界における取組状況を定期的に発信・研修。

<セミナー、実地研修>

②新技術、新部品の把握

- メーカー・OEMのシーズ情報収集。
- 次世代自動車の構成部品や機能について、分解部品や実車を使用して研修を実施。

<実地研修、専門家派遣>

③参入イメージの明瞭化

- 自社技術を深堀し、強みや得意事項を整理。
- 関係機関・企業と連携し、提案力の強化について検討を行う。

<窓口相談、専門家派遣>

窓口相談

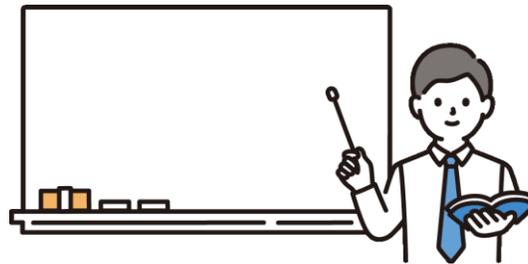
電話・メール、現地訪問によるヒアリングを実施



- みやぎ産業振興機構職員のほか、自動車メーカー出身のコーディネーターにより対応
- 課題整理のほか、解決に向けては、種々の支援策紹介や、専門家派遣へとつなげた。

セミナー・実地研修

CASE対応や次世代自動車動向に係るセミナー、電動車部品の機能構造を学ぶ講座を実施



- セミナー 2回
- 実地研修 3回

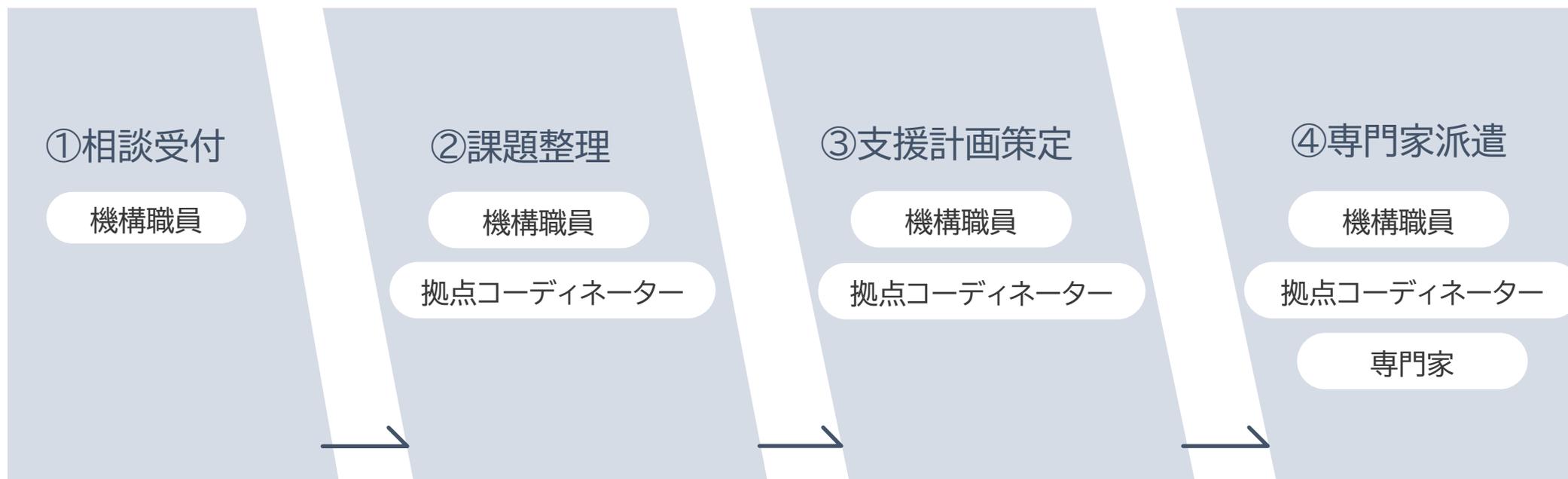
専門家派遣

課題内容に応じて、専門家を選択し、伴走的支援を実施



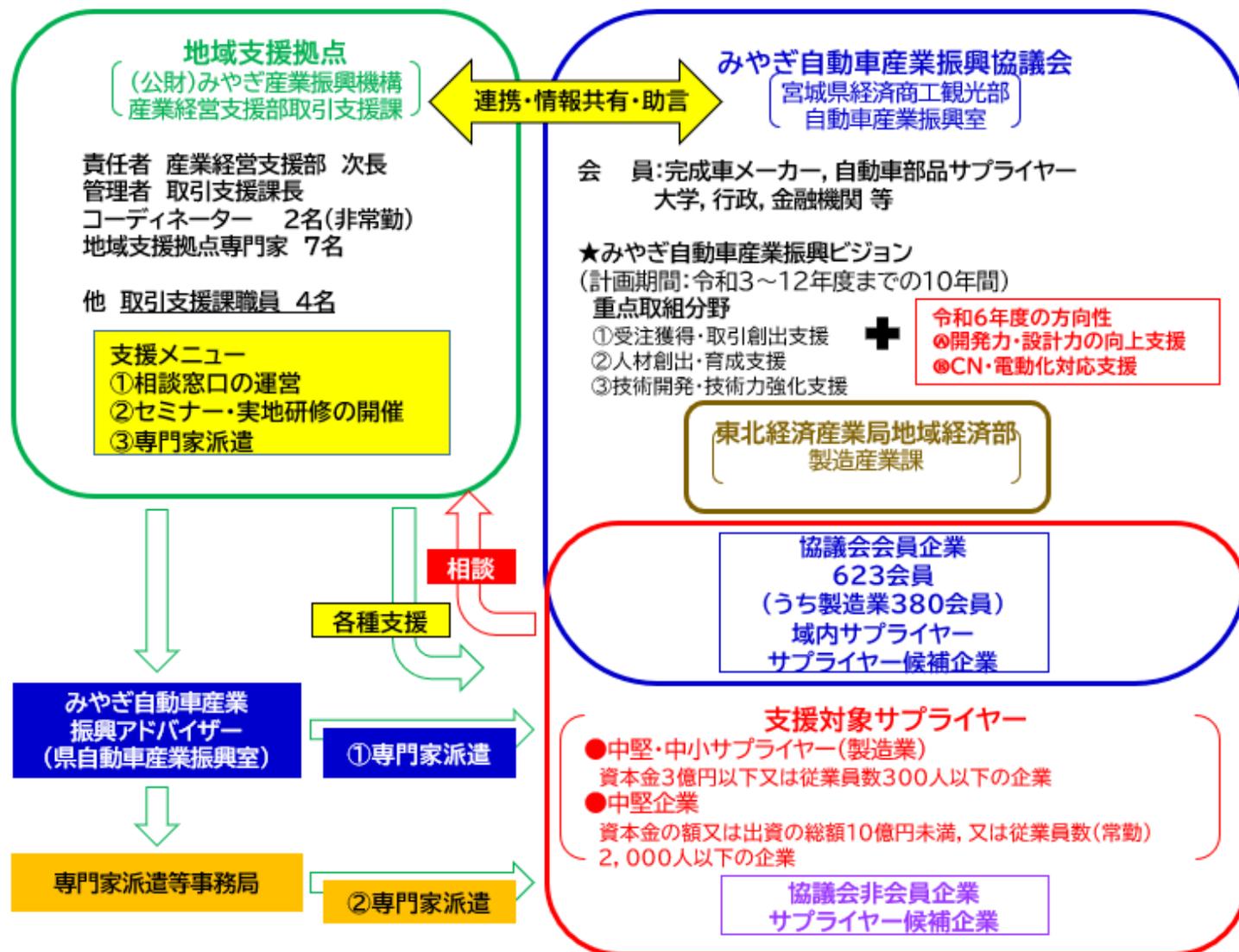
- 以下より候補を検討し派遣
 - ①宮城県自動車産業振興アドバイザー
 - ②全国登録専門家
- 派遣回数については、
 - ①:1社あたり制限なし
 - ②:1社あたり5回まで

支援フロー



【ポイント①】 課題事項については、伴走的にフォローアップを実施し、段階に応じた支援策を検討

【ポイント②】 専門家派遣後、今後の取り組み方針について、コーディネートを実施



【ポイント】

- みやぎ自動車産業振興協議会の枠組みを最大限活用。
⇒会員組織には、約380社のサプライヤーが在籍。
⇒ミカタプロジェクトの事業周知がより容易に実施。
- 県担当課(自動車産業振興室)・県公設試(産業技術総合センター)との連携。
⇒ミカタプロジェクトと他事業の効率的連関を模索(研修の合同開催や、役割分担等)

ミカタプロジェクトコーディネーターの設置

コーディネーターは、自動車の電動化や自動車技術に加え、サプライヤー等中小企業支援や販路開拓等の業務に精通する川村氏及び鈴木氏の計2名を任命。コーディネーターとして、窓口相談対応、専門家相談対応、セミナー・実地研修の企画調整、専門家派遣の人選及び調整等の業務に従事。



【川村 洋一】
・宮城県自動車産業振興アドバイザー
・元トヨタ自動車東日本(株)
技術統括部CS

○支援イメージについて
⇒ 月に3回程度稼働。



【鈴木 浩司】
・元大手総合電機メーカー
・元みやぎ産業振興機構
マッチング専門員

○支援イメージについて
⇒ 月に10回程度稼働。

定期的に企業訪問の上、個社課題の整理・検討を伴走的に支援。

宮城県自動車産業振興アドバイザー(=地域支援拠点専門家)の設置

アドバイザー業務として、企業への生産現場改善支援や技術力強化支援を実施したほか、ミカタプロジェクトセミナーの企画や実地研修のサポートを行った。

| | | | | | |
|--|--|---|---|--|--|
|  | <p>高橋 盛治 (たかはし もりじ) 宮城県経済商工観光部参与 (自動車産業振興担当)</p> <p>【プロフィール】 トヨタ自動車東日本(株) 総務部 地域共生推進グループ チーフエキスパート</p> <p>【担当分野】 ○生産現場改善支援 ・TPS(トヨタ生産方式)の指導 ・現場安全の支援 ・生産性向上の改善</p> |  | <p>小島 恭 (おしま きょう) 宮城県自動車産業振興 アドバイザー</p> <p>【プロフィール】 元(株)ケーヒン 電子統括本部電子生技部部長 角田第三工場(電子工場)工場長</p> <p>【担当分野】 ○生産現場改善支援 ・電子系生産領域の生産技術 ・品質管理の支援 ○生産技術・品質管理相談支援</p> |  | <p>村井 成一 (むらい せいいち) 宮城県自動車産業振興 アドバイザー</p> <p>【プロフィール】 元トヨタ自動車東日本(株) 総務部 地域共生推進グループ シニアパートナー</p> <p>【担当分野】 ○生産現場改善支援 ・TPS(トヨタ生産方式)の指導 ・現場安全の支援 ・生産性向上の改善</p> |
| 自動車産業振興室 | | 自動車産業振興室 | | 自動車産業振興室 | |
|  | <p>細江 克治 (ほそえ かつはる) 宮城県自動車産業振興 アドバイザー</p> <p>【プロフィール】 (株)デンソー 統合システム開発部 クロスドメインソリューション開発 室開発1課 キャリアエキスパート</p> <p>【担当分野】 ○新製品開発提案支援 ・車載電装品の市場動向調査 ・製品開発力・提案力の向上支援 ○技術・製品開発相談支援</p> |  | <p>梅山 光広 (うめやま みつひろ) 宮城県自動車産業振興 アドバイザー</p> <p>【プロフィール】 石巻専修大学 理工学部 教授 元トヨタ自動車(株)技術統括部長</p> <p>【担当分野】 ○新製品開発提案支援 ・製品開発力・提案力の向上支援 ・車載部品の設計開発支援 ○技術・製品開発相談支援</p> |  | <p>河田 俊彦 (かわた としひこ) テクニカルプロジェクト コーディネーター</p> <p>【プロフィール】 元アルプスアルパイン(株) 品質本部EMC信頼評価</p> <p>【担当分野】 ○新製品開発提案支援 ・車載電装品の開発設計支援 ・新製品開発のプロジェクト化支援 ○技術・製品開発相談支援</p> |
| 自動車産業振興室 | | 自動車産業振興室 | | 産業技術総合センター | |

- 対応者 公益財団法人みやぎ産業振興機構 産業経営支援部 取引支援課
担当職員4名 ※必要に応じて、コーディネーターが対応
- 相談時間 月～金(※祝日等除く)
午前9時から午後5時まで
- 相談方法 電話又はメール
TEL:022-225-6637 / メール:biz@joho-miyagi.or.jp
- その他
 - ・セミナー、実地研修参加企業に対して訪問の上、個別相談対応。
 - ・関係機関からの情報共有により、自動車産業への参入を検討する先や、新技術の検討を行う先についても、個別相談対応を実施。

▼みやぎ産業振興機構HPでの広報



ホーム > みやぎ地域自動車産業「ミカタ」プロジェクト

目的別から探す

資金の調達や
相談をしたい >

経営を見直したい >

販路開拓をしたい >

人材育成をしたい >

現場改善をしたい >

みやぎ地域自動車産業「ミカタ」プロジェクト

公益財団法人みやぎ産業振興機構では、経済産業省の実施する「令和5年度カーボンニュートラルに向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業（地域支援拠点運営事業）」の委託を受け、以下事業をスタートしました！

[みやぎ地域自動車産業「ミカタ」プロジェクトーチラシ](#)

■目的・背景

政府の「2050年カーボンニュートラルに促すグリーン成長戦略」（令和3年6月）において、2035年

窓口開設については、HP及びパンフレット配布より積極的広報を実施

▼総合パンフレットでの広報

経済産業省 令和6年度 CASE対応に向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業

みやぎ地域自動車産業「ミカタ」プロジェクト

自動車の電動化の進展に伴い、需要の減少が見込まれる自動車部品(エンジン、トランスミッション等)に関わる中堅・中小企業者や、これまで自動車部品製造を行ったことのない企業が、自動車部品の製造に挑戦するといった「攻めの業態転換・事業再構築」について、窓口相談や研修・セミナー、専門家派遣等を通じて支援します。

自動車産業に現在関わっている、または新たに参入する中堅・中小企業者の創業期に向けた「見方」を示し、企業の「味方」としてサポートする事業

「ミカタ」プロジェクト

一緒に課題解決に向けて取り組みます！

お悩み・課題

- 電動化と関わっても関与をすべきが相談したい
- 電動車においてどのような部品が必要になるのかわからない
- 電動化対応に向けた事業展開の方法について相談したい

支援メニュー

- 1 相談窓口**
 - (公財)みやぎ産業振興機構に窓口を設置し、電話・メール等で受付
 - 機構職員やコーディネーターによるヒアリング・現地訪問等により、中堅・中小企業者の課題を整理・検討
- 2 セミナー・実地研修**
 - 電動化、カーボンニュートラルに関する最新情報や技術動向セミナーを複数回実施
 - 自動車部品の実物解説や、事業参入のための基礎知識を目的とした実地研修開催
- 3 専門家派遣**
 - 窓口相談での課題に応じ、適切な専門家を派遣
 - 自動車産業の潮流や技術等に精通する専門家による支援
 - 金融登録専門家など、地域の信頼を醸成し支援可能

対象者

①宮城県に所在する中堅・中小自動車部品サプライヤー
②これまで自動車部品製造を行ったことのない企業
(自動車向け新分野への挑戦)

※全て参加費無料

得る姿をイメージ

①EVモーターシャフトや
電動向け軽量部品の
製造へ転換

②モーターケース、
EV部品製造を通じ、
自動車業界へ参入

実地研修

自動車部品の機能・構造を学ぶ講座や、自社の技術で開発可能な案件を考察する機会を設けます。

地域支援ネットワーク

本事業は、みやぎ自動車産業振興協議会を中心に、支援機関、金融機関、業界団体、地方自治体等と連携して実施いたします。

各機関の支援メニューを複合的に活用することで、「攻めの業態転換・事業再構築」を後押しいたします。

お問合せ先 (事務局)

公益財団法人みやぎ産業振興機構
産業経営支援部 取引支援課
(仙台市青葉区上杉一丁目14番2号)

✉ biz@joho-miyagi.or.jp
☎ 022-225-6637
🌐 https://www.joho-miyagi.or.jp/

| No | 企業名 | 資本金 (百万円) | 従業員数 (人) | 主要取扱商品 | 初回相談日 | 相談 区分 | 相談内容 | 対応 |
|----|------|--------------|-------------|-------------|-----------|----------|-----------------------------------|------------------|
| 1 | A1社 | — | — | OA機器等 | 2024/5/20 | 窓口 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 2 | A2社 | — | — | 自動機 | 2024/6/12 | 訪問 | CASEに関する情報収集 外注委託企業の情報 | 情報提供 企業紹介あつせん |
| 3 | A3社 | — | — | プレス部品 | 2024/6/13 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 4 | A4社 | — | — | ゴム成形部品 | 2024/6/13 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 5 | A5社 | — | — | 表面研磨 | 2024/6/18 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 6 | A6社 | — | — | 各種リレー | 2024/6/25 | 訪問 | CASEに関する情報収集 (開発中のEV車向けリレーの情報) | 専門家派遣実施 |
| 7 | A7社 | — | — | 冷間鍛造部品 | 2024/7/3 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 8 | A8社 | — | — | 冷間鍛造部品 | 2024/7/10 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 9 | A9社 | — | — | 金属粉末、 箔帯 | 2024/7/11 | 訪問 | CASEに関する情報収集 (モーター用部品の新素材の情報) | 専門家派遣実施 |
| 10 | A10社 | — | — | 樹脂成形部品 | 2024/7/16 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |

| No | 企業名 | 資本金 (百万円) | 従業員数 (人) | 主要取扱商品 | 初回相談日 | 相談 区分 | 相談内容 | 対応 |
|----|------|--------------|-------------|--------|-----------|----------|--------------------------------|---------|
| 11 | B1社 | — | — | 樹脂成形部品 | 2024/7/30 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 12 | B2社 | — | — | 加工機具 | 2024/8/6 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 13 | B3社 | — | — | 精密板金部品 | 2024/8/8 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 14 | B4社 | — | — | 金属切削部品 | 2024/8/22 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 15 | B5社 | — | — | 各種コイル類 | 2024/8/26 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 16 | B6社 | — | — | 特殊車両保守 | 2024/9/10 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 17 | B7社 | — | — | プレス部品 | 2024/9/17 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 18 | B8社 | — | — | 金型 | 2024/9/17 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 19 | B9社 | — | — | 鋳造部品 | 2024/9/18 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 20 | B10社 | — | — | 鍛造部品 | 2024/9/26 | 訪問 | CASEに関する情報収集 新規工場の工程レイアウト検討 | 専門家派遣実施 |

| No | 企業名 | 資本金 (百万円) | 従業員数 (人) | 主要取扱商品 | 初回相談日 | 相談 区分 | 相談内容 | 対応 |
|----|------|--------------|-------------|-----------------|------------|----------|--------------------------------|----------------|
| 21 | C1社 | — | — | 樹脂成形部品 | 2024/9/30 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 22 | C2社 | — | — | 樹脂成形部品 | 2024/10/3 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 23 | C3社 | — | — | プレス部品 | 2024/10/3 | 訪問 | CASEに関する情報収集 特異技術を使った販路拡大 | 情報提供 伴走支援 |
| 24 | C4社 | — | — | 切削加工部品 | 2024/10/16 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 25 | C5社 | — | — | 切削加工部品 | 2024/10/25 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 26 | C6社 | — | — | 樹脂切削部品 | 2024/10/25 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 27 | C7社 | — | — | 外観検査、 組立ユニット | 2024/11/11 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 28 | C8社 | — | — | 切削加工部品 | 2024/11/14 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 29 | C9社 | — | — | アクチュエー タ設計 | 2024/11/18 | Web | CASEに関する情報収集 EV車向けアクチュエータ情報 | 情報提供 専門家の検討 |
| 30 | C10社 | — | — | 表面処理 | 2024/11/19 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |

| No | 企業名 | 資本金 (百万円) | 従業員数 (人) | 主要取扱商品 | 初回相談日 | 相談 区分 | 相談内容 | 対応 |
|----|------|--------------|-------------|-----------------|------------|----------|------------------------------------|------------------|
| 31 | D1社 | — | — | 新素材シート | 2024/11/26 | 訪問 | CASEに関する情報収集 ソフトウェア技術者 及びサポート企業 | 情報提供 企業紹介あつせん |
| 32 | D2社 | — | — | 商社(汎用品、 加工品) | 2024/12/2 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 33 | D3社 | — | — | 基板実装ユ ニット | 2024/12/18 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 34 | D4社 | — | — | 車体部品 | 2024/12/20 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 35 | D5社 | — | — | 特殊車両 (改造) | 2024/12/26 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 36 | D6社 | — | — | 基板ユニット | 2025/1/22 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 37 | D7社 | — | — | 樹脂成形部品 | 2025/1/23 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 38 | D8社 | — | — | 自動機、ユ ニット部品 | 2025/1/28 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 39 | D9社 | — | — | 樹脂成形部品 | 2025/1/31 | 訪問 | CASEに関する情報収集 社内課題の整理(生産性向上等) | 情報提供 |
| 40 | D10社 | — | — | 精密板金部品 | 2025/2/12 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |

| No | 企業名 | 資本金 (百万円) | 従業員数 (人) | 主要取扱商品 | 初回相談日 | 相談 区分 | 相談内容 | 対応 |
|----|-----|--------------|-------------|---------------|-----------|----------|---------------------------------|--------------|
| 41 | E1社 | — | — | 産業用各種 シート | 2025/2/12 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 42 | E2社 | — | — | 自動機 | 2025/2/13 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 43 | E3社 | — | — | 制御盤関連 | 2025/3/4 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 44 | E4社 | — | — | 樹脂成形部品 | 2025/3/5 | 訪問 | CASEに関する情報収集 新規取得技術の活用(販路拡大) | 情報提供 伴走支援 |
| 45 | E5社 | — | — | スクリーン印 刷部品 | 2025/3/14 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |
| 46 | E6社 | — | — | 自動機、検査 機 | 2025/3/14 | 訪問 | CASEに関する情報収集 | 情報提供 |

【第1回セミナー(7/19)】

- 日時 令和6年7月19日(金) 14:00~16:00
- 場所 TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口ホール4A
- 参加者 11社14名(全体45名)
- プログラム
 - 1 開会
 - 2 事業説明 公益財団法人みやぎ産業振興機構
 - 3 講演 関西大学商学部 教授 佐伯 靖雄 氏
 - 4 質疑応答
 - 5 閉会

経済産業省 令和6年度CASE対応に向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業

みやぎ地域自動車産業ミカタプロジェクト
令和6年度 第1回セミナー

論 題

『自動車産業のCASE革命：
東北地方の課題と展望』

▷ 世界の電気自動車市場の動向とテスラの事業戦略
▷ CASE革命がもたらす自動車部品需要の変化

日 時

令和6年7月19日(金) 14時~16時
(開場：13時30分)

会 場

TKPガーデンシティ PREMIUM仙台西口 ホール4A
〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院1-2-15 ソララプラザ4階
TEL:022-204-1036

プログラム

| | |
|-------|-----------------------|
| 14:00 | 開会 (13:30 開場) |
| | 事業説明 みやぎ産業振興機構 |
| | 講演 関西大学商学部 教授 佐伯 靖雄 氏 |
| | 質疑応答 |
| 16:00 | 閉会 |

📍参加費無料/定員100名程度

【主催】経済産業省東北経済産業局 地域経済部 製造産業課
【実施・運営】公益財団法人みやぎ産業振興機構 産業経営支援部 取引支援課

【第1回セミナー(7/19)】

●開催概要

・CASE対応に関する様々な情報収集や将来検討を県内企業へ促していくことを主眼としたセミナーにするため、以下項目について実施。

- ①CASEの概要
- ②今後需要が減っていくと予測される部品領域
- ③自動車産業における東北(宮城)の現状・課題

●講演概要

■CASE革命

EVの実態として、黒字化はテスラ、BYDのみ。現在のEV普及はアーリーアダプター層に限定され、バッテリー調達コストに課題がある。

■東北はどうすべきか

車体軽量化 衝撃吸収構造体 防振・遮音 内外装部品などは本体開発部隊の手薄になる分野なので落穂拾いのようにこれらを数社で請け負う体制で活路を見出す。

東北は日本全体で見ても人口減少が激しい地域であり、事業継続ができなくなるレベル。

若者の域内流出を止める施策も大切。

【第1回セミナー(7/19)】

●アンケート結果

- ・セミナー参加動機
 - 「自動車産業に関心」が76%、「CN化・電動化に関心」が15%
- ・セミナーに対する満足度
 - 「非常に満足」「まあ満足」を合わせて97%
- ・今後活用したい支援メニュー
 - 「セミナー参加」が58%、「実地研修参加」が24%、「専門家派遣」が9%
- ・その他自由記載
 - 自動車における技術開発の動向について知りたい。
 - 各メーカーの最新BEVのベンチマークと技術情報展開について知りたい。

●まとめ

- ・開催後アンケートにおける高い満足度が示すように、参加企業にとり有益な情報収集の場となった。
- ・参加企業にとっては、身近な影響がどう及ぶか(製造部品の変化など)について、より把握したいとする先が多く、後の研修・セミナーへと結んだ。

【第2回セミナー(2/27)】

- 日時 令和7年2月27日(木) 13:00~15:00
- 場所 ホテルメトロポリタン仙台 3階 曙西
- 参加者 13社21名(全体35名)
- プログラム
 - 1 開会
 - 2 講演 三洋貿易(株) 伊藤 研一 氏
 - 3 質疑応答
 - 4 閉会

経済産業省 令和6年度CASE対応に向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業

みやぎ地域自動車産業ミカタプロジェクト 令和6年度 第2回セミナー

「モジュール化構造の導入に伴う部品構成の変化と所要部品の変遷」

本セミナーでは、ギガキャストを始めとしたアルミ構造の導入・Cell to Bodyへの進化や、機能部品の統合化（モジュール化）に伴って減少する自動車部品について、中国を始めとした世界メーカーのトレンドを紹介しながら、今後サプライヤーが生き残っていくためにはどうしていくべきかについて、ご講演いただきます。是非ご参加ください。

参加費 無 料

日 時
令和7年2月27日(木) 13時~15時 (開場: 12時00分)

会 場
ホテルメトロポリタン仙台 3階「曙西」
(宮城県仙台市青葉区中央1-1-1)

定 員
50名 (お申し込み先着順)

プログラム

| | |
|-------|----------------------------------|
| 13:00 | 開会 |
| | 講演 三洋貿易株式会社 産業資材第二事業部 伊藤 研一 氏 |
| 14:45 | 質疑応答 |
| 15:00 | 閉会 |

とうほく・北海道
自動車関連技術展示商談会
出展企業パネル展示

トヨタグループをはじめとする東海地方の自動車関連企業に向けて、最新技術を提案する展示商談会(2/6~2/7)に出展した県内企業のパネルを会場内に展示します。

【主催】経済産業省東北経済産業局 地域経済部 製造産業課
【実施・運営】公益財団法人みやぎ産業振興機構 産業経営支援部 取引支援課

【第2回セミナー(2/27)】

●開催概要

・CASE対応に関する様々な情報収集や将来検討を県内企業へ促していくことを主眼としたセミナーにするため、以下項目について実施。

- ①自動車産業におけるモジュール化の概要
- ②モジュール化構造がもたらした変革(中国メーカー、テスラの事例)
- ③今後、サプライヤーはどう対応していくべきか

●講演概要

■モジュール化構造とは

いくつかの部品の機能を集め、まとまりのある機能を持った部品

事例:テスラの熱マネジメントシステム、ギガキャストによるフロアパネルなど

■モジュール化導入の課題

複数部品サプライヤーの統合、大型設備の導入、実現に向けた旗振り不在

■今後の対応案

自社技術の位置付けの明確化、市場動向の把握・・・ベンチマーク活動が有効

【第2回セミナー(2/27)】

- アンケート結果
 - ・セミナー参加動機 —「自動車産業に関心」が86%、「CN化・電動化に関心」が19%
 - ・セミナーに対する満足度 —「非常に満足」が52%、「まあ満足」が43%
 - ・今後活用したい支援メニュー —「セミナー参加」が67%、「実地研修参加」が24%
 - ・研修で参考となった話、印象に残った話(抜粋)
 - 自動車産業におけるモジュール化がこれほど進んでいるとは考えていなかった。自社の生産に対して考え方を見直せる部分がないか検討したい。(A社)
 - 中国の新興メーカーにおける開発スパンの早さに驚いた。(B社)
 - 電動化で必ずしも部品が減るわけではないという話が参考になった。(C社)
 - ベンチマークの重要性、長期的に実施することが重要であること。(D社)
 - ・今後の研修で知りたい情報(抜粋)
 - アジアの若い人材の傾向について(今のレベルではなく、未来をどう見ているか)(E社)
 - 地元企業が関係しそうな部品、機能部品についての情報展開(F社)

- まとめ
 - ・開催後アンケートにおける高い満足度が示すように、参加企業にとり有益な情報収集の場となった。
 - ・ベンチマーク活動については、次年度実地研修に取り入れていくことを検討していく。

【実地研修①(10/17)】

●日時 令和6年10月17日(木) 10:00~12:00

●場所 宮城県産業技術総合センター 大会議室

●参加者 14社20名(全体22名)

●内容 「自動車産業を取り巻く環境」

講師 宮城県自動車産業振興アドバイザー 川村 洋一 氏



～市場環境から電動車のコア技術まで～

本セミナーでは、急速に変化する自動車業界のトレンドと、電気自動車の技術的基盤を包括的に解説します。業界の最新動向と技術的基盤の両面がわかるセミナーです。

【開催日】 令和6年10月17日(木)

【参加費】 無料

【会場】 宮城県産業技術総合センター 大会議室
(仙台市泉区明通二丁目2番地)

| | 時間 | テーマ・内容 | 定員 |
|---|---------------------|---|----|
| 1 | 10:00 ～ 12:00 | 自動車産業を取り巻く環境 グローバルな自動車市場の動向や世界経済の影響、カーボンニュートラルへの取り組みを中心に、自動車産業を取り巻く環境を包括的に解説します。 講師 川村 洋一 (宮城県自動車産業振興アドバイザー) | 30 |
| 2 | 13:30 ～ 15:30 | 電動化に伴う動力の変化 電気自動車の基本的な構造を解説し、モーター、インバーター、バッテリーといった主要技術や、電動車の種類と特徴に焦点を当てます。また、電気自動車における熱マネジメントの重要性についても解説します。 講師 菅場 文彦 (元トヨタ自動車(株)) 河田 俊彦 (宮城県産業技術総合センター) 平賀 謙 (宮城県産業技術総合センター) | 30 |

本資料は、経済産業省 令和6年度CASE対応に向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業（地域支援拠点運営事業）と連携して開発する研修です。

【申込】 下記詳細ページ、もしくは右記のQRコードよりお申込みください。
<https://www.mit.pref.miyagi.jp/?p=22800> ※どちらか一方のみ受講も可。

【申込期限】 令和6年10月11日(金)

主催：みやぎ産業振興機構、宮城県産業技術総合センター
共催：みやぎ自動車産業振興協議会、公益社団法人自動車技術会 東北支部【お問合せ先】
宮城県産業技術総合センター 住所：仙台市泉区明通2丁目2番地 TEL:022-377-8700 / FAX:022-377-8712
番・添付 E-mail: itm-c@pref.miyagi.lg.jp

【実地研修①(10/17)】

●開催概要

- ・実地研修は、全3回にて開催し、宮城県産業技術総合センター主催の研修と共同企画、同日開催とした。
- ・1回目は、自動車の電動化の潮流やその背景となる世界動向を解説し、自動車産業で活動、または参入を目指す宮城県企業と情報を共有した。

●アンケート

結果①

- ・研修に対する満足度 —「とても良かった」が42%、「良かった」が58%
- ・研修内容の評価及び理由
 - 自動車産業の全体像を知ることができた。
 - 知りたい情報がまとめられており、参考になった。
 - ボリュームがあるため、講義時間がもっとあると良い。
 - 自動車産業の動向や電動車の技術動向について、自分で調べて学ぶには非常に時間を要する内容がまとめられていて、参考になった。

【実地研修①(10/17)】

●アンケート

結果②

- ・今後の研修で開催して欲しいテーマ、キーワード、内容(自由記載)
 - もう少し部品の説明が欲しい。
 - EV化、CN化へ向かう中で既存の原材料がどう変わっていくか、なくなるもの、増減するもの
新たなニーズ・シーズ等について
 - HEV、EVバッテリーの動向、電気、電子関係
 - CASEに関するセミナー

●まとめ

- ・講和前後の出席者との会話やアンケート結果などから、内燃機関から電動化への動力シフト(E)に関心を持つ方が多い一方、自動運転(A)や通信(T)はあまり響いていない感触であった。これらがセットで電動化シフトの流れである点をより深く共有する必要があると感じた
- ・電動化シフトに問題意識を持つ企業の参加が多い一方、新規参入を目指す新たな企業の掘り起こしなど、より多くの企業にミカタプロジェクトの認知度を高め、領域を広げる活動が必須。

【実地研修②(11/7)】

- 日時 令和6年11月7日(木) 13:30~15:30
- 場所 宮城県産業技術総合センター 大会議室
- 参加者 9社11名(全体23名)
- 内容 「電気自動車『LEXUS RZ』技術・部品解説」
講師 ブルースカイテクノロジー(株)
矢島 和男 氏、阿部 誠 氏、古川 資之 氏

電気自動車の車両制御の 変化と最新技術

日時：令和6年11月7日(木) 10:00~15:30
会場：宮城県産業技術総合センター 大会議室
(仙台市泉区明通二丁目2番地)

**参加費
無料**



本セミナーでは、自動車の電動化に伴う車両制御の変化と技術、EV『LEXUS RZ』の基幹部品（モーター、インバーター、バッテリー）の説明と部品展示、技術についてご紹介します。電動化技術とそれを搭載した実車が見られる貴重な機会です。是非ご参加ください。

| | 時間 | テーマ・内容 | 定員 |
|---|---------------------|--|----|
| 1 | 10:00 ~ 12:00 | 電動化に伴う車両制御の進化 自動車の電動化によるシステム進化により、各部品（シャシ制御、補機類、エアコン）やHMI関連（エンジンON・OFF、シフト位置、ドアの開閉など）がどのような変化をもたらされたのか解説し、実物を用いて説明します。 講師：水田 謙 氏（元 アルプス電気株式会社） 河田 俊輝 氏（宮城県産業技術総合センター） 平賀 孝 氏（宮城県産業技術総合センター） | 30 |
| 2 | 13:30 ~ 15:30 | 電気自動車『LEXUS RZ』技術・部品解説 LEXUSブランド初のBEV専用モデルとして発売された『RZ』。トヨタグループが長年蓄積してきた技術をベースに進化させたRZ450eの電動パワートレインの分解品を使って、電動パワートレインの中核となるバッテリー、モーター、インバータ技術やHMI関連の最新技術動向を中心に解説します。 講師：矢島 和男 氏（ブルースカイテクノロジー(株)） 阿部 誠 氏（ブルースカイテクノロジー(株)） 古川 資之 氏（ブルースカイテクノロジー(株)） | 30 |

次回セミナー予告 12/12(木)
「電動化に伴う電気的変化と高周波・EMC特性(仮)」

お申込み方法
下記詳細ページ、もしくは右記のQRコードよりお申込みください。
URL (<https://www.mit.pref.miyagi.jp/?p=23032>)
申込期限：11月1日(金)



本事業は、経済産業省 令和6年度CASE対応に向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業（地域支援拠点運営事業）と連携して実施する研修です。

主催：公益財団法人みやぎ産業振興機構、宮城県産業技術総合センター
共催：みやぎ自動車産業振興協議会、公益社団法人自動車技術会 東北支部

【実地研修②(11/7)】

●開催概要

- ・自動車産業の電動化に向けた域内企業の技術適用や、個別相談企業の発掘を目的として研修を実施。
- ・EV『LEXUS RZ』の電動パワートレインの分解品を使って、電動パワートレインの中核となるバッテリー、モータ、インバータ技術や HMI 関連の最新技術動向を中心に解説を行った。

●アンケート

結果①

- ・研修に対する満足度 —「とても良かった」が67%、「良かった」が22%
- ・研修内容の評価及び理由
 - バッテリー、インバータ等について詳しく知ることができた。
 - 概要しか知らなかった部品の情報や技術を知ることができた。
 - 各部品の構造について初心者でも分かりやすい説明だった。また、最新の技術トレンドも分かりやすく説明いただいた。

【実地研修②(11/7)】

●アンケート

・自動車の電動化の影響が、会社の事業・業務にも影響を与えているか

結果②

「影響を受けている」が33%、「今は影響を受けていないが、今後受けると思う」が22%

「全く影響しない」が28%

・上記設問で影響を受けている(受けると思われる)内容

— 部品の変化への対応(スイッチノブ等は減り、構造部品系が増えている)

— 電動化の波がディーゼル機関車にも届く可能性がある

— EV系部品の委託試験が増えている

— 自社製品との競合

●まとめ

・各企業の持っている技術を活かせる分野を確認する意味で有効な展示方法であった。

・参加した県内企業にとり、部品の必要条件が理解でき、自社でつくり得るものなのどうかまで落とし込むことができたかは不確か。

・この点、研修のフォローとして、宮城県産業技術総合センターとの連携が重要。

【実地研修③(12/12)】

- 日時 令和6年12月12日(木) 13:30～15:30
- 場所 宮城県産業技術総合センター EMC試験室
- 参加者 16社31名(全体37名)
- 内容 「電気自動車『LEXUS RZ』『TESLA Model 3』
技術比較」
講師 講師 ブルースカイテクノロジー(株) 矢島 和男 氏

電動化に伴う電気的変化と 高周波・EMC特性

日時：令和6年12月12日(木) 10:00～15:30
会場：宮城県産業技術総合センター 大会議室
(仙台市泉区明通二丁目2番地)

参加費
無料



本セミナーでは、電動化における電気的変化に焦点を当て、無線通信技術の普及が車載システムに与える影響や、車載システムにおける高周波・EMCについて解説します。また、実車を用いた技術解説・EMC実測のデモンストレーションを行います。是非ご参加ください。

| 時間 | テーマ・内容 | 定員 |
|--------------------------|--|----|
| 1 10:00 ～ 12:00 | 電動化に伴う電気的変化 自動車の電動化が進む中、新たな技術要素として加わる通信技術やOTA (Over-the-Air) 更新やSDV (Software Defined Vehicle) 化、高周波特性の変化、EMC (電磁適合性) の課題と対策について解説します。また、当センターのEMC試験室 (10m法電波暗室) にてEMC実測のデモンストレーションを行います。 講師：河田 俊彦 (宮城県自動車産業振興アドバイザー) 平賀 泰 (宮城県産業技術総合センター：技術主査) | 30 |
| 2 13:30 ～ 15:30 | 電気自動車『LEXUS RZ』『TESLA Model 3』技術比較 『LEXUS RZ』『TESLA Model 3』の実車を用いて、自動車メーカーによる電気自動車の設計の違い・特徴 (リヤートレイン、電動補強など) を詳しく解説します。 講師：矢島 和男 氏 (ブルースカイテクノロジー(株)) | 30 |

お申込み方法

下記詳細ページ、もしくは右記のQRコードよりお申込みください。

URL (<https://www.mit.pref.miyagi.jp/?p=23482>)

申込期限：12月6日(金)



本事業は、経済産業省 令和6年度CASE対応に向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業(地域支援拠点運営事業)と連携して実施する初級です。

主催：公益財団法人みやぎ産業振興機構、宮城県産業技術総合センター
共催：みやぎ自動車産業振興協議会

【実地研修③(12/12)】

- 開催概要
 - ・自動車産業の電動化に向けた域内企業の技術適用や、個別相談企業の発掘を目的として研修を実施。
 - ・『LEXUS RZ』『TESLA Model 3』の実車を用いて、自動車メーカーによる電気自動車の設計の違い・特徴(パワートレイン、電動補器類など)を詳しく解説した。
- アンケート結果①
 - ・研修に対する満足度 —「とても良かった」が67%、「良かった」が30%、「普通」が3%
 - ・研修内容の評価及び理由
 - 具体的に車を見て、イメージを持つことができた。
 - 実物の車に乗り、各社の設計の違いについて十分に体験できた。
 - 座学と実車を見ながらの内容で理解が深まった。EV化の動向を詳しく知ることができた。

【実地研修③(12/12)】

●アンケート

結果②

- ・今後の研修で知りたい情報(自由記載)
 - 各電装ユニットの中身(分解)
 - 電動車のデメリットについて
- ・自動車の電動化の影響が、会社の事業・業務にも影響を与えているか
「影響を受けている」が33%、「今は影響を受けていないが、今後受けると思う」が21%
「全く影響しない」が27%
- ・上記設問で影響を受けている(受けると思われる)内容
 - 様々な製品用途としてMBDが活用され始めているため
 - EV車の不調、メーカー戦略見直しにより売上に影響が出ている
 - コイル事業の企業のため、ノイズという面で影響があると思われる
 - 部品点数が減っていることと、鉄製品が少なくなっている
 - エンジン部品がなくなることによる部品供給の途絶

●まとめ

- ・普段机上や書面での知識だけであったものが実物を見ながら現認できたことは大変良い機会であった。
- ・可能であれば少しでも運転してより乗り味などを体感できるチャンスを作ることも検討したい(次年度の課題)。

専門家派遣事業について — 実績3社6回

①A社

【テーマ】 EVリレー開発における課題整理

【専門家】 渡辺 康人 氏(現/VANTECH(株)、元/本田技研工業(株))

【派遣回数】 計1回(令和6年8月19日・オンライン)

②B社

【テーマ】 アモルファス金属の自動車産業における今後の需要動向

【専門家】 千葉 晃司 氏(現/東京理科大学非常勤講師、元/日産自動車(株))

【派遣回数】 計1回(令和6年8月28日・オンライン)

③C社

【テーマ】 新工場増設に向けた生産性向上を目的としたレイアウト設計

【専門家】 松原 雄二 氏(現/(株)ティムネット、元/白木金属工業(株))

【派遣回数】 計4回(令和7年1月23日・現地派遣、令和7年1月24日・現地派遣、
(令和7年2月11日・オンライン、令和7年2月25日・オンライン))

【地域支援ネットワークの設置】

⇒みやぎ自動車産業振興協議会幹事会を地域支援ネットワークに位置づけ。

【みやぎ自動車産業振興協議会】

・県内の自動車関連企業・団体のネットワークづくりや関連情報の共有化等を図ることで、高度な技術力の集積、受発注機会の拡大を促進し、自動車関連産業の集積を図ることを目的として平成18年5月に設立。

・平成24年5月には「みやぎ自動車産業振興プラン」を策定し、「受注獲得」「人材育成」「技術開発」を重点分野として位置付け、県内自動車関連企業の新規参入や取引拡大を推進。現在は600を超える会員に参画いただきながら、自動車関連産業の振興を図るための活動を実施している。

【地域支援ネットワーク 構成メンバー】

| No. | 機関・企業名 | 役名 | No. | 機関・企業名 | 役名 |
|-----|---------------|------|-----|----------------|-----|
| 1 | みやぎ産業振興機構 | 代表幹事 | 14 | みやぎ工業会 | 〃 |
| 2 | アルプスアルパイン | 幹事 | 15 | 東北大学 | 〃 |
| 3 | 岩機ダイカスト工業 | 〃 | 16 | 仙台市 | 〃 |
| 4 | ウチダ | 〃 | 17 | KCみやぎ推進ネットワーク | 〃 |
| 5 | 七十七銀行 | 〃 | 18 | 宮城県 | 〃 |
| 6 | 東北電力 | 〃 | 19 | キョーユー | 監査役 |
| 7 | 東北特殊鋼 | 〃 | 20 | 引地精工 | 〃 |
| 8 | トヨタ自動車東日本 | 〃 | 21 | 東北経済産業局 | 顧問 |
| 9 | トヨタ紡織東北 | 〃 | 22 | 東北経済連合会 | 〃 |
| 10 | 日立Astemo | 〃 | 23 | 中小企業基盤整備機構東北支部 | 〃 |
| 11 | プライムアースEVエナジー | 〃 | 24 | 日本政策投資銀行東北支店 | 〃 |
| 12 | 北光 | 〃 | 25 | 商工組合中央金庫仙台支店 | 〃 |
| 13 | ヤマセ電気 | 〃 | 26 | 日本政策金融公庫仙台支店 | 〃 |

【広報について】

- ①機構HPやメルマガ配信
- ②みやぎ自動車産業振興協議会(地域支援ネットワーク)、会員企業へのメルマガ配信
- ③総合パンフレットでの広報



みやぎ地域自動車産業「ミカタ」プロジェクト

自動車産業の電動化に伴い、需要の減少が見込まれる自動車部品(エンジン、トランスミッション等)に関わる中堅・中小企業者や、これまで自動車部品製造を行ったことのない企業が、自動車部品の製造に挑戦するといった「取組の業種転換・事業再構築」について、窓口相談や研修・セミナー、専門家派遣等を通じて支援します。

「ミカタ」プロジェクト 自動車産業に現在関わる、または新たに参入する中堅・中小企業者の業種転換に向けた「視察」を指示し、企業の「販路」拡大としてサポートする事業

お悩み・課題

- 電動化と関わっても何をすべきか相談したい
- 電動車においてどのような価値が必要になるのを知りたい
- 電動化対応に向けた事業展開の方法について相談したい

支援メニュー

- 1 相談窓口**
 - (公財)みやぎ産業振興機構に窓口を設置し、電話・メール等で受付
 - 機構職員やコーディネーターによるヒアリング・現地訪問等により、中堅・中小企業者の課題を整理・検討
- 2 セミナー・実地研修**
 - 電動化、カーボンニュートラルに関する最新情報や技術動向をセミナーを複数回実施
 - 自動車部品の実物解説や、事業参入のための差額点検を目的とした実地研修開催
- 3 専門家派遣**
 - 窓口相談での課題に応じ、適切な専門家を派遣
 - 自動車産業の潮流や技術等に精通する専門家による支援
 - 全盛登録専門家など、地域の裾野を拡大派遣可能

支援フロー

- 1 相談受付**
- 2 課題整理・分析**
- 3 専門家派遣**

対象者

- ① 宮城県に所在する中堅・中小自動車部品サプライヤー
- ② これまで自動車部品製造を行ったことのない企業 (電動車向け新分野への挑戦)

セミナー・実地研修 ※全て参加費無料

セミナー
電動化、カーボンニュートラルの国内外動向や自動車業界における取組状況などを知っていただき、今後の事業展開の定規がかりとなるセミナーを実施します。

実地研修
自動車部品の機能・構造を学ぶ講義や、自社の技術で開発可能な案件を考察する機会を設けます。

将来の姿をイメージ

- ① EV/EV-ターシャフトや ② モーターケース性、電動車向け軽量部品の EV部品製造を通じ、製造へ転換 自動車業界へ参入

地域支援ネットワーク

本事業は、みやぎ自動車産業振興協議会を中心に、支援機関、金融機関、業界団体、地方自治体等と連携して支援いたします。

各機関の支援メニューを複合的に活用することで、「取組の業種転換・事業再構築」を強力に後押しいたします。

お問合せ先 (事務局) 公益財団法人みやぎ産業振興機構 産業経営支援部 取引支援課 (仙台市青葉区上杉一丁目14番2号)

連絡先: biz@joho-miyagi.or.jp, 022-225-6637, https://www.joho-miyagi.or.jp/

【令和6年度事業実施内容及び事業効果について】

① 窓口相談

・令和6年度はコーディネーターを増員し、企業訪問による相談対応を積極的に進めることとした。その結果、相談(訪問)対応件数が増加し、当事業の認知拡大につながったほか、県内企業が抱える課題を把握することができ、専門家派遣の実施につながった事例もあった。

② セミナー・実地研修

・セミナーについては、CASE等の進展に伴う業務縮小といった域内サプライヤー及びサプライヤー候補企業への危機意識醸成や先行事例等をテーマに開催し、域内サプライヤーの自動車業界の潮流や技術動向への理解が深まったものと捉えている。

・実地研修については、今年度より県産業技術総合センターと連携して研修の企画を行ったことで、域内サプライヤーにとってより効果的な研修となったほか、同センター主催の研修プログラムとしても、より充実した研修内容となった。

・内容については、バッテリー、モーター、インバーターを中心とした電動車両の主要構成部品の構造・機能解説を行ったほか、車両や分解品を展示を実施したことで、域内サプライヤーの電動車両及び部品・構造の理解・関心が高まったものと考えている。

③ 専門家派遣

・令和6年度については、企業訪問数の増加によるPRの促進や、県自動車産業振興室及び県産業技術総合センターとの連携により、支援企業数及び支援回数ともに前年度を上回り、域内サプライヤーの事業転換や既存事業の効率化に向けた支援に貢献することができた。

【令和6年度事業課題及び今後の事業の方向性について】

① 継続的な訪問による進捗や把握企業の課題分析の不足

- ・令和6年度はコーディネーターを1名増員したことにより相談（訪問）件数は増加したが、継続的な訪問による進捗把握や訪問企業の課題分析は不十分な状況にある。
- ・令和7年度については、さらに1名のコーディネーターを増員し、県内企業の情報収集を強化するとともに、同一企業への定期的な企業訪問を行い、課題整理から専門家派遣実施までの支援を実施し、事業転換に向けたステージアップを後押しする。

② セミナー・実地研修の企画力向上

- ・アンケート等より、参加者から一定の評価はあるものの、電動化を中心とした自動車産業を取り巻く環境は流動的に変化しており、今後も自動車産業の動向を注視しながら、適切な講師の選定及び開催内容の企画が求められる。
- ・実地研修について、これまで実施してきた研修講師による一方向の講義形式での研修に加え、新たに設置するコーディネーターが企画に参画し、域内サプライヤー参加者が主体的に取り組む部品解析研修や域内サプライヤー同士の情報共有、意見交換の場を創出するワークショップ形式での研修も検討する。

③ 専門家派遣の活用促進

- ・令和6年度の支援社数は前年度を上回ったが、目標としている年間10社には達していない。
- ・令和7年度以降については、訪問企業数を増やし、課題整理等の伴走支援を行いながら専門家派遣の活用を促すほか、専門家派遣につながる可能性のある相談案件は、本事業のみならず、他の県事業などでも支援しているため、それらの相談案件の情報を県内関係機関で共有し、県一体でより効果的な支援を実施できるよう、県自動車産業振興室及び県産業技術総合センターと連携しながら、県としての支援体制を強化していく。